



コミュニティ・スクール基本理念

一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.22 令和7年12月18日 文責 校長

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)事故防止 今一度各ご家庭で

学校におけるタブレット端末の持ち帰りが定着化し、子どもたちが今まで以上に学校でも自宅でも様々な場所で、インターネット環境に触れる機会が増えました。インターネットは手軽にたくさんの情報を誰でも手に入れることができる便利な一方で、危険なサイトや誘惑のあるものも多くあります。学校でもSNSやオンラインゲームにおける、暴言や喧嘩の相談があるのも事実です。またそれらが以前よりも下の学年で起きている傾向がみられます。学校でも、使い方について、道徳の授業や情報モラル教室を通して指導をしているところです。

年末年始はお子様が普段にもましてインターネットに触れる機会が多くなることが予想されます。ご家庭におかれましても、今一度お子さんが機器をいつ、どのような場所で、どのような使い方をしているのかご確認いただき、安全に利用できるようSNS等の正しい使い方について話し合っていただきますようお願いします。

SNSに年齢制限があるのをご存じでしょうか。



以下は、主要なSNSの年齢制限の一覧です。詳しくは各サイトでご確認ください。

Facebook: 13歳以上 Instagram: 13歳以上

X: 13歳以上 LINE: 13歳以上 TikTok: 13歳以上



YouTube: 13歳以上(ただし、子ども向けのコンテンツは制限あり)これらの年齢制限は、子どもたちが安全にインターネットを利用するためには設けられています。

「青少年インターネット環境整備法」には保護者の役割についてこうあります

- 情報モラル教育: 青少年に対して、インターネット利用に関する情報モラル教育を行い、正しい利用方法を教え込むことが重要です。
 - フィルタリングの利用: インターネットフィルタリングサービスを導入し、青少年がアクセスできないように制限することが求められます。
 - 利用時間の管理: 青少年のインターネット利用時間を適切に管理し、過度な利用を防ぐことが必要です。
 - 利用内容の確認: 青少年が利用しているサイトやアプリケーションの内容を確認し、適切な利用を促進することが重要です。これらの役割を果たすことで、青少年が安全にインターネットを利用できる環境を整えることができます。
-
- 何より、インターネット、SNSに関しても子ども任せにせず、保護者が把握し、トラブルを未然に防ぐことが大切です。
 - そのためには家庭でのきまりをしっかり作り、しっかり守らせる。機器を預けっぱなしにせず、保護者の目の届くところで使わせることなども大切です。

政府広報オンラインサイト

『子どものスマホ利用を安全に！ネット犯罪から守るには？』

<https://www.gov-online.go.jp/article/201503/entry-7441.html>

のQRコードを添付いたします。今一度各ご家庭でのルールづくりについてお子様とご確認ください。

以下がサイトの内容です



目次

- 1 スマホを悪用した子どものネット犯罪被害
- 2 どんな犯罪被害が起きているの？
- 3 子どもが加害者になることもあるの？
- 4 子どもがインターネットを安全、適切に利用するには？
- 5 フィルタリング設定は十分ですか？

コラム

- コラム 1:家庭のルールの例
- コラム 2:相談は全国の少年相談窓口へ